

科目名 (科目番号)	アスレティックトレーナーの役割 (時間割参照)	教員名 鈴木康文	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
	曜日・時限等		時間割表参照	単位数	2		
	授業形態		講義	オフィスアワー	木2 A305研究室		
授業概要	スポーツ現場におけるアスレティックトレーナーの役割とその業務を具体的に学び、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成の歴史的背景や趣旨、設立に至った背景および諸外国の状況から現在の日本スポーツ協会におけるJSP0-ATの立ち位置について知る。また、スポーツ医・科学チームを構成する関連資格の特徴を理解し、JSP0-AT に求められる役割について学習する。						
目的・目標	目的:JSP0-ATの役割・業務および専門性を理解し、業務遂行に必要な多様な素養を踏まえ、持続的な学習姿勢と関係職種との連携を推進できる基礎的な知識と態度を身につけることを目的とする。 目標:①JSP0-ATの役割・業務内容および専門性について説明できる。 ②JSP0-ATに求められる倫理観、責任、社会的立場を理解している。 ③業務を遂行する上で必要となる多様な素養(知識、技能、態度、コミュニケーション能力等)を理解できる。 ④自己研鑽の重要性を理解し、継続的に学ぶ姿勢を示すことができる。 ⑤。関係職種の役割を理解し、連携の重要性を説明できる						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSP0-AT)とは	到達目標：JSP0-ATの役割について説明できる。 学習内容：JSP0-ATの業務や役割、JSP0-ATの専門性について学ぶ。				
	2	国内外のアスレティックトレーナーの歴史・制度・役割	到達目標：JSP0-AT及び国内外の関連資格の役割、業務、制度を説明できる。 学習内容：JSP0-ATの資格制度、JSP0-ATの教育・歴史、諸外国におけるATおよび関連資格について学ぶ。				
	3	JSP0-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営	到達目標：JSP0-ATのコンピテンシーに応じた活動内容について説明できる。 学習内容：JSP0-ATが担う安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防、コンディショニング、リコンディショニング、救急対応について学ぶ。				
	4	スポーツ指導者としてのATの倫理と責任、法的義務	到達目標：法律的観点からみたJSP0-ATの役割を理解し、求められる倫理と責任について説明できる。 学習内容：スポーツ指導者としてのATの倫理と責任、法的義務について学ぶ。				
	5	JSP0-AT業務におけるリスクマネジメント	到達目標：JSP0-AT業務におけるリスクマネジメントについて理解する。 学習内容：JSP0-AT業務におけるリスクマネジメント、リスクマネジメントにおけるポイントについて学ぶ。				
	6	JSP0-ATの活動環境	到達目標：JSP0-ATの活動環境とアスレティックトレーナーの職域拡大について理解する。 学習内容：JSP0-ATの活動環境や新たな活躍の場について学ぶ。				
	7	JSP0-ATの健康管理	到達目標：自身の健康管理の重要性を理解し、その予防や対処法について説明できる。 学習内容：JSP0-ATの健康管理、スポーツ現場で留意すべき感染症について学ぶ。				
	8	JSP0-ATのセルフマネジメント	到達目標：自身の健康管理の重要性を理解し、その予防や対処法について説明できる。 学習内容：JSP0-ATのメンタルヘルスとセルフケアについて学ぶ。				
	9	スポーツ医・科学チームとスタッフ	到達目標：スポーツ医・科学チームを構成する関連資格の特徴を理解し、JSP0-ATに求められる役割を説明できる。 学習内容：スポーツ医・科学チームとスタッフ、連携と役割について学ぶ。				
	10	エビデンスに基づいた運営(EBP)	到達目標：科学的根拠に基づいた業務推進のための情報収集と活用方法について説明できる。 学習内容：エビデンスに基づく医療やエビデンスに基づく実践について学ぶ。				
	11	JSP0-ATと研究	到達目標：科学的根拠に基づいた業務推進のための情報収集と活用方法について説明できる。 学習内容：JSP0-ATが研究を行う意義や研究の具体例について学ぶ。				
	12	JSP0-ATの生涯教育	到達目標：科学的根拠に基づいた業務推進のための情報収集と活用方法について説明できる。 学習内容：JSP0-ATの生涯教育の目的・内容・方法について学ぶ。				
	13	プレーヤーとのコミュニケーションと留意点	到達目標：クライアントの特徴を理解し、連携体制の構築に活用できる。 学習内容：プレーヤーとのコミュニケーションとその留意点について学ぶ。				
	14	関係者とのコミュニケーションと留意点	到達目標：クライアントの特徴を理解し、連携体制の構築に活用できる。 学習内容：関係者とのコミュニケーションとその留意点について学ぶ。				
15	対象者の特性とコミュニケーション	到達目標：クライアントの特徴を理解し、連携体制の構築に活用できる。 学習内容：対象者の特性を踏まえたコミュニケーション手法について学ぶ。					
成績評価の方法・基準	課題レポート（50%）+筆記試験（50%）※対面・オンライン共通						
教科書	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻 アスレティックトレーナーの役割				公益財団法人 日本スポーツ協会		
参考図書							
教員からのメッセージ	(公財)日本スポーツ協会アスレティックトレーナー(JSP0-AT)の資格取得に必須の科目であり、授業内容はかなり専門的内容となります。授業内容を理解するためにも予習・復習が大切です。JSP0-ATとして登録・認定後5年を経過している教員がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						